

震災発生からおよそ3週間が経った。被災地に赴くと、どなたも「あの時、死を覚悟した」その言葉を最初に吐かれる。震度3～4の余震はいまだに続く。

被災地で活動して下さる自衛隊・警察・消防隊・全国の自治体の方々、そして工事関係者の方々の昼夜を問わないライフラインの復旧作業により、崩落箇所や迂回路があるものの、能登半島の道が少しずつ繋がるようになってきている。輪島・珠洲方面は依然として厳しい状況ではあるが、穴水町・能登町・志賀町はほとんどの地域で停電が解消された。断水は続いており、水道仮復旧は早い地域でも2ヶ月を要し、被害の大きい地域は4月以降となる見通しである。

今回は2日間に分けて被災地(穴水町・能登町・志賀町)への支援物資運搬と状況確認を行い、各団体代表者または石川県太鼓連盟地区理事の方々からお話を伺った。

*

*

*

2024年1月19日(金)

穴水長谷部太鼓保存会(穴水町中心部)

石川県太鼓連盟米田会長、穴水長谷部太鼓保存会の佐藤代表と、避難所である穴水町役場で待ち合わせをする。避難所駐車場は砂利で補修してあるが、ひび割れも多く、近くでは大きな土砂崩れがあり黒い土嚢袋が並んでいる。

「土砂崩れによる行方不明者の捜索隊にずっと加わっていて、みんなを探しだしてからようやく自分の家の整理を始めた。」と会長が話して下さった。亡くなられた方は16名と伺った。輪島市訪問の際も同様であったが、ご自身が被災されながらも自らのことを後回しにして、この状況の中、踏ん張っている方々が沢山いる。

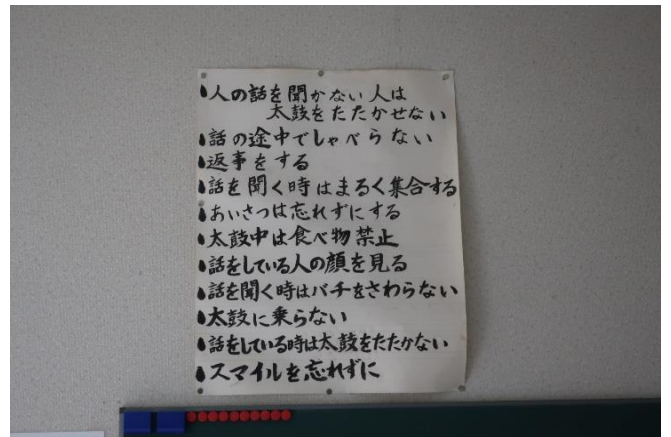
また、健康・衛生面に影響する排泄の問題が大きく、女性用と書かれた仮設トイレの扉を開けると、体を回転するにはギリギリの狭さで、嘔吐・下痢の方が増えてきているため便座や手の消毒を必ず行うよう注意喚起の張り紙がされている。

支援物資はブルーシート、簡易トイレや携帯除菌シートが主となり、施設によってはシャワーが使えるようになったため、女性用のオールインワンクリームの要望があった。



穴水町役場より車で2分ほど、長谷部神社敷地内にある太鼓の練習場所「長谷部会館」に米田会長と向かう。事前に代表者が片付けをされていて太鼓が丁寧に並べられていた。

長谷部会館



のと半島鹿波獅子太鼓(穴水町鹿波漁港近く)

米田会長の先導のもと、のと半島鹿波獅子太鼓の東代表のご自宅へ向かう。

途中、陥没した道や土砂崩れの現場を目の当たりにする。まだ、道路の応急補修が進んでいない道が多い。「3日前から下水道がつながり、いつになるかは分からないが井戸水の検査が終われば生活用水として使えるようになる、今は雨水を貯めて洗濯をしている。」と代表者から伺う。

鹿波地区では在宅避難の方も多いが、穴水町中心部に生活用品購入や給水場所に行くためには危険な道路を往復する必要がある、支援物資として主に水や食品類をお届けした。





のと半島鹿波獅子太鼓の練習場 鹿波小学校へと向かう。ここは津波避難場所となっており、海の向こう側には能登島が見える。避難所真下には、津波を想定した新しい道路が海岸線に平行して高い場所に作られており、その道路だけは全く被害がみられない。

しかし生活を支える主要な道路が失われていたため物資が届かず、住民の多くがこの避難所に集まり、震災1週間ほどは孤立状態となっていた。消防ホースで SOS を描いた跡が残っている。

鹿波小学校



八坂神社彌榮太鼓保存会(能登町中心部)

八坂神社彌榮太鼓保存会の本谷代表のお宅に支援物資を届ける。「大晦日から泊まりで地元の神社で神楽笛の奉納をして、家に帰った途端、経験したことのない立ってられない揺れが襲ってきた。玄関と和室に太鼓を置いていたけど、玄関の太鼓をかき分けながら裸足のまま外に出た」「今回の地震は地面が横に動いただけではなく、輪島方面の海底が隆起し、能登町宇出津方面は逆に沈降してしまった。」と話して下さった。



被災後片付ける前の ご自宅の様子

あばれ祭で知られる同町宇出津の八坂神社では、歳旦祭として、毎年1月7日に能登町指定無形民俗文化財でもあり、350年余りの歴史がある彌榮太鼓の初打ち奉納が行われる。

今年、その奉納は叶わない。また車で20分ほどの場所にある白丸地区は津波と火災による大きな被害を受けた。

ただ、能登町中心部から少しずつ復旧が始まっている。近くの宇出津港では鰯漁が再開された。

八坂神社



町の様子



能登町役場には、バリアフリートイレが設置されている



宇出津港

*

*

*

2024年1月20日(土)

志賀疾風太鼓保存会・志賀豊年力太鼓保存会・志賀天友太鼓(志賀町中心部)

石川県太鼓連盟口能登地区会員の安否確認をして下さっていた同連盟河野副会長と連絡を取り、同地区 高野理事、八十田理事のご協力もいただきながら再度、支援物資の要請有無の電話確認を行う。

輪島市同様、最大震度7を観測した志賀町は地域によって被災状況が大きくばらつき、場所によっては当初から停電もなく断水のみのも場所もあったが、震度4～5の余震は続いている。現在、志賀町中心部は家屋被害、地割れ、断水などがあるが、金沢市からの主要道路が繋がっているため、スーパーやドラッグストアには商品が並び始めている。22日から、一部の幼稚園や保育所、小中学校が再開される見通しとの発表もあった。支援物資については、志賀町中心部の団体は大丈夫とのお返事をいただき、家屋被害の大きかった領家町がある富来方面の方々は、現在支援物資の意向を確認中である。

表題の志賀町中心部3団体は、1月5日から浴場を無料開放しているアクアパーク シ・オンの隣、シ・オン文化館を太鼓の保管練習場所として使っている。八十田理事より、会員各々の家屋被害があるが、太鼓や銅鑼などの演奏楽器に被害はなかったと報告を受ける。

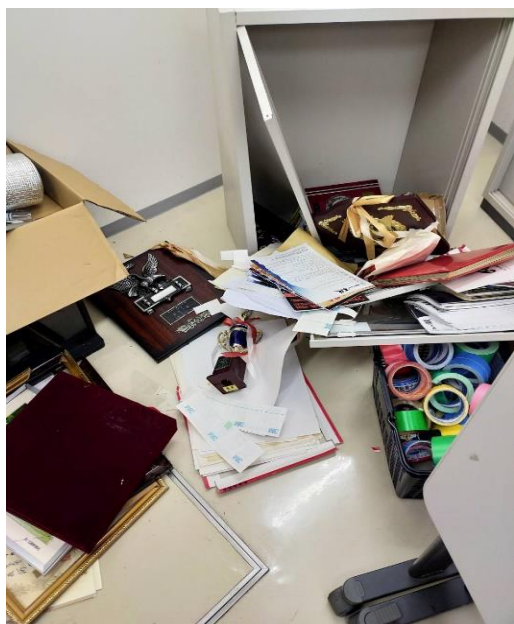
シ・オン文化館



昨年、結成50周年を迎えた志賀豊年力太鼓保存会

シ・オン文化館内 太鼓練習場・保管場所の様子

(石川県太鼓連盟会員写真提供)



*

*

*

その他、河野副会長・浅野太鼓楽器店 浅野正規専務ご協力のもと、お電話や LINE において、会員の皆様の無事と支援要請有無の確認を行った団体は下記の通りです。

- ・住吉神社御神事太鼓保存会
- ・能登黒島天領太鼓保存会
- ・七尾豊年太鼓保存会
- ・いでゆ太鼓保存会
- ・向田雨乞太鼓保存会
- ・一ノ宮不動太鼓保存会
- ・富木神幸太鼓
- ・富木八幡太鼓保存会
- ・天平太鼓保存会
- ・石崎豊年太鼓響友会
- ・富山県氷見有磯海太鼓

今回の支援物資内容は次頁で報告いたします。

(2024年2月1日)

日本太鼓財団 支援物資一覧表 (2024.1.19)

穴水長谷部太鼓保存会

購入先	項目	数量	金額
清水産業	ブルーシート	10 枚	21,494
	土のう袋	50 袋	
プラント	ロープ 200m	3 本	5,177
	紙容器	1 袋	
	カップうどん	1 箱	
ホームセンタームサシ	非常用トイレ	6 箱	12,600
スギ薬局	プラ容器	2 袋	3,943
	オールインワン肌クリーム	5 個	
くすりのアオキ	携帯用除菌シート	8 個	3,308
	消臭剤	2 個	
	プラ容器	1 袋	
	菓子	5 袋	
		合計	46,522

のと半島鹿波獅子太鼓

購入先	項目	数量	金額
清水産業	ブルーシート	20 枚	43,472
	土のう袋	50 袋	
	ロープ 300	2 本	
プラント	ロープ 200m	3 本	26,490
	長靴	1 足	
	手袋 3 双入	4 袋	
	2L 水	5 箱	
	カップうどん	1 箱	
	カップラーメン	1 箱	
	インスタントスープ	10 袋	
	インスタント味噌汁	2 袋	
	ふりかけ	10 袋	
	パックごはん	6 袋	
	紙容器	3 袋	
	くすりのアオキ	プラ容器	
菓子		6 袋	
		合計	71,978

八坂神社彌樂太鼓保存会

購入先	項目	数量	金額
プラント	カップラーメン	1箱	10,587
	2L水	10箱	
	除菌シート	8個	
くすりのアオキ	菓子	6袋	993
		合計	11,580
		総計	130,080

* * *

1月19日以降、

河合光夫様から 10,000 円

福井県太鼓連盟から 30,000 円

松本弘昭様から 35,000円

東京都支部会員から 100,000 円

のご寄付をそれぞれ頂いています。

寄付金の累計額は2月1日現在で 2,575,000 円となりました。ありがとうございます。

収支計算書 (2/1 現在) (単位：円)

収入		金額	備考
1/5	全九州太鼓連合	1,000,000	
1/6	関八州太鼓連合	100,000	
1/9	東北太鼓連合	300,000	
1/18	浅野太鼓楽器店	1,000,000	
1/27	河合 光夫	10,000	シニアコンクール出場者
1/29	福井県太鼓連盟	30,000	
1/29	松本 弘昭	35,000	シニアコンクール出場者
2/1	東京都支部会員	100,000	

計 2,575,000

支出		金額	備考欄
1/11	輪島支援物資	121,741	
1/19	穴水/能登町/志賀町分	130,080	

計 251,821

収支差額		2,323,179
------	--	-----------